

指導の重点・主な施策について

平成32年度に全面実施される次期学習指導要領では、社会の変化が加速度を増す中で、これから学んでいく子供たちが大人になる2030年頃の社会の在り方を見据えながら、どのように知・徳・体にわたる「生きる力」を育むのかを重要視している。

また、一方的に知識を得るだけでなく、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の視点からの授業改善をさらに充実させ、子供たちがこれからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることを目指しているものである。

戸田市教育委員会教育政策室では、戸田市長が策定した「戸田市の教育振興に関する大綱(平成28年4月策定)」(巻末に掲載)及び「第3次戸田市教育振興計画(平成28～32年度)」を基盤に、国や県の動向や各学校の実態を踏まえ、次期学習指導要領への移行が、確実かつ円滑に実施できるよう各施策を実施する。

このような中、「指導の重点・主な施策」は、各学校で行う教育活動の指針を編集したものである。各学校においては、自校の実態に即して本冊子を十分に活用し、平成29年度の指導の重点・努力点を明確にし、学校教育の充実を図りたい。

第3次戸田市教育振興計画

★基本理念：～生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田～

★キャッチフレーズ：とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を

★基本目標：I やり抜く力を育む教育を推進する ～確かな学力と生徒指導の充実を図る～

1 確かな学力の育成 2 豊かな心の育成 3 健やかな体の育成 4 国際社会で活躍できる人材の育成

II よりよい教育環境を整備する ～産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る～

1 新しい学びの創造 2 教員の資質向上・支援 3 学校施設・設備の充実 4 特別支援教育の充実

★目指す児童生徒「とだっ子」像

希望をもち、思いやり、未来を拓くため 最後までやり抜く児童生徒

平成29年度 戸田市立小・中学校における標準授業時数について

▼小学校

	各 教 科									道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語(英語)活動※	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育					
第1学年	306	*	136	*	102	68	68	*	102	34	34	*	*	850
第2学年	315	*	175	*	105	70	70	*	105	35	35	*	*	910
第3学年	245	70	175	90	*	60	60	*	105	35	35	35	35	945
第4学年	245	90	175	105	*	60	60	*	105	35	35	35	35	980
第5学年	175	100	175	105	*	50	50	60	90	35	35	70	35	980
第6学年	175	105	175	105	*	50	50	55	90	35	35	70	35	980

▼中学校

	各 教 科									道徳	特別活動	総合的な学習の時間	総授業時数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語(英語)				
第1学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
第2学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
第3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

※小学校中学年における外国語(英語)活動の実施について

本市全小学校は、小学校中学年の「総合的な学習の時間」を35時間削減し、外国語(英語)活動を35時間実施することが可能となっている。これは、学習指導要領等の教育課程の基準によらない特別の教育課程の編成・実施を可能とする特例校(教育課程特例校)(平成21年2月23日文部科学大臣承認)となっていることに基づくものである(期間は、次期教育課程変更日まで)。

※次期小学校学習指導要領における外国語(英語)活動及び外国語(英語)科への短時間学習の導入について

次期小学校学習指導要領では、中学年において外国語(英語)活動が、高学年において外国語(英語)科が導入され、それに伴い、全国的には3年生から6学年までの授業時数が、それぞれ年間35時間ずつ増加される。

本市の中学年の外国語(英語)活動については、平成15年度から35時間実施しているが、さらなる英語教育の充実を図るために35時間増とし、合計70時間とする。(教育課程特例校の申請により、総合的な学習の時間を35時間減とする予定)。

中学年、高学年で増加する35時間の実施方法については、15分間の短時間学習を3回行うことにより1単位時間(45分間)に換算することとする。なお、平成29、30年度は、学校の実態に応じて段階的に先行実施し、平成31年度から全校完全実施とする。なお、低学年については、現在10時間程度を実施しているが、10時間増(短時間学習)とし、合計20時間程度とする。